

庶民増税なしで

こうして社会保障の財源つくります

こんなムダづかいを放置して消費税引き上げ？
(2012年度予算案から)

原発推進関連予算	4188億円
外環道など幹線道路ネットワーク整備	4899億円
首都圏空港の強化	118億円
八ツ場ダム本体工事(国費) ※建設事業費4600億円。関連事業・起債の利息を含めると約9000億円	56億円
胆沢ダム建設(国費)	111億円
情報収集衛星の研究開発	40億円
米軍関係費	2660億円(注)
次期戦闘機F35(4機) ※約40機調達。購入費、整備・改修費を含めると1兆円超	600億円
政党助成金	320億円
証券優遇税制の延長	年間5000億円
法人税減税	年間1兆2000億円

(注)「思いやり予算」1867億円、米軍再編関係経費707億円、SACO関係経費86億円

1 大企業・大資産家への減税を止める

法人税減税やめて 年 1.2 兆円
証券優遇税制なくし年 0.5 兆円

歳出のムダにメス(表参照)

2 富裕層と大企業は応分の負担を

これまでの行過ぎた減税を見直し、欧米で検討されている富裕層への課税強化を検討する

3 所得に応じて負担する税制への改革

国民全体で社会保障の抜本的拡充のための財源を支える税制改革を行う

大金持ち増税は世界の流れです

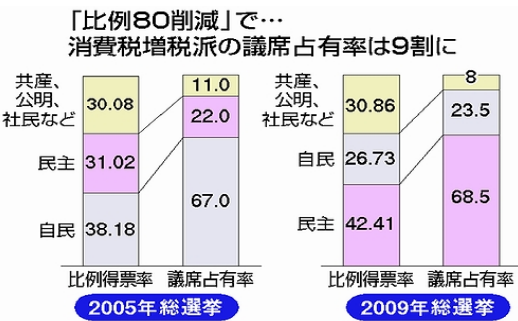
●フランス 資本所得にかかわる社会保障関連諸税を 12.3%から 13.5%へ増税 ●イタリア 30 万ユーロを超える所得に 3%の所得税負課税 ●スペイン 70 万ユーロを超える資産に 0.2~2.5%の富裕税 ●OECD 「富裕層に公平な比率の税を負担させるために、所得再配分における租税の役割を再検討すべき」と各国政府に提言。

野田佳彦首相は、消費税増税と社会保障切り捨ての「一体改革」を「必ずやりきる」ために、国会議員の「定数削減」を実現すると述べました。
しかし、国会議員の削減を消費税増税の前提条件にするのは、民主主義の原則からも絶対に許されないことです。なぜなら国会の議席は国民のものであり、政治家の私物ではないからです。国民の代表である国会議員を減らせば、民意がますます国会に届かなくなりすまます。

野田首相は、自ら「身を切る」との理屈で衆院比例80議席を削減するといいますが、現行の選挙制度でもっとも民意を反映する比例代表の議席180のうち80議席を削れば、大政党がますます有利になります。「一体改革」応援の「朝日」でさえ「大政党を利するお手盛り」(19日付)と指摘します。

たとえば、2005年の総選挙の結果で試算した場合、自民党と民主党という消費税増税派の議席占有率は89%を無独占します。同じく09年の総選挙結果では、民主党と自民党が92%

比例80削減 増税派議席9割に 反対の声を締め出す



※2005年、09年の総選挙結果をもとに試算。議席占有率には小選挙区を含む。

野田首相は、自ら「身を切る」といいますが、現行の選挙制度でもっとも民意を反映する比例代表の議席180のうち80議席を削れば、大政党がますます有利になります。「一体改革」応援の「朝日」でさえ「大政党を利するお手盛り」(19日付)と指摘します。消費税増税派の民主党と自民党が9割の議席を独占すれば、増税反対の世論は完全に封殺されます。野田首相は増税法案を通したうえで「国民に信を問う」としていますが、そのときには増税反対の声が締め出されて、国民に「痛み」だけが押しつけられるのです。「身を切る」というのなら、年間320億円の政党助成金を廃止するべきです。「東京」19日付社説は「増税削減に後ろ向きでは「身を切る」の覚悟を疑わされても仕方がありません」と書いています。

「ほっと戸塚」からお知らせ

横浜南クレサラネット
2月度の相談会
8日 15日 22日
午後6時から7時半
会場 社会福祉協議会
フレンズ戸塚
問合せは「ほっと戸塚」へ

みんなで歌う会
2月11日(土)
午後2時~3時30分
ほっと戸塚にて
会費300円。初参加大歓迎
「早春」をうたいましょう

税金相談会
2月17日(金)午前10時 「ほっと戸塚」にて
医療費のかかった方、地震保険や生命保険をかけた方、寄付された方などご相談ください。
防災初期消火・救命救急訓練
2月4日(土)午前10時 「ほっと戸塚」にて
AEDの使い方や心臓マッサージなど戸塚消防署署員が指導に来ます。